

# 米村靖雄関係文書目録

2015年9月

国立国会図書館憲政資料室

## 米村靖雄関係文書目録【凡例】

- ・目録の記述項目は、請求番号／タイトル／作成者／宛先／年月日／内容／記述法／用紙／備考／数量／付属資料／合綴注記、である。
- ・目録中〔 〕で囲まれているものは、目録作成者の推定である。

## 米村靖雄関係文書目録【目次】

1. 書簡	p.1
1.1米村靖雄宛書簡・米村靖雄書簡	p.1
1.2米村靖雄家族宛書簡・米村靖雄家族書簡	p.3
1.3その他書簡	p.4
2. 日記・手帳・メモ	p.5
2.1日記	p.5
2.2手帳	p.7
2.3メモ	p.7
3. 米村靖雄軍務関係	p.8
3.1履歴関係	p.8
3.2訳文・著述	p.8
3.3山県有朋副官勤務関係	p.12
3.4招待状ほか	p.15
4. 米村靖雄葬儀関係・米村靖雄伝編纂関係	p.16
4.1米村靖雄葬儀関係	p.16
4.2『米村靖雄伝』編纂関係	p.18
5. その他	p.18
5.1写真帳・アルバム・写真	p.18
5.2図書類	p.20
5.3米村家近世文書	p.21
5.4雑	p.24

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
<b>1. 書簡</b>											
<b>1.1 米村靖雄宛書簡・米村靖雄書簡</b>											
1	石田鼎一書簡	石田鼎一	米村靖雄	大正12年6月15日	校歌案執筆依頼	墨書			1通	封筒、1枚	
2	石田鼎一書簡	石田鼎一	米村靖雄	大正12年6月29日	校歌案送付感謝、教官に回覧す	ペン	封緘葉書		1通		
3	石田鼎一書簡	石田鼎一	米村靖雄	大正12年7月16日	小生近来健康を損じたため福岡海岸で転地療養のつもり	ペン	葉書		1通		
4	石田鼎一書簡	石田鼎一	米村靖雄	大正12年8月3日	校歌案の修正について	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	
5	岩橋次郎書簡	岩橋次郎	米村靖雄	大正12年7月12日	頂戴した印刷物に対する学生の意見なき旨報告	ペン	葉書		1通		
6	岩橋次郎書簡	岩橋次郎	米村靖雄	[大正12年]7月10日	校歌作製に関する尽力感謝	ペン	罫紙		1通		
7	浦■書簡	浦■	米村靖雄	9年5月31日	身延山観光の様子	ペン	絵はがき		1通		
8	鎌田瑗書簡	鎌田瑗	米村靖雄	[大正12年]7月12日	校歌の歌詞についての修正意見	墨書			1通	封筒、1枚	
9	河瀬二郎書簡	河瀬二郎	米村靖雄	2月2日	年賀状礼状	ペン	絵はがき		1通		
10	北原書簡	北原	米村靖雄	7月22日	御翻訳のシェーレル所論拝読、中国では政変の幕未だ終わらず	ペン	絵はがき		1通		
11	是永美治郎書簡	是永美治郎	米村靖雄	明治39年1月9日	年賀状感謝、雑務に忙殺の様子、無事の生還めでたし	墨書			1通	封筒、1枚	
12	是永美治郎書簡	是永美治郎	米村靖雄	[明治37年]4月18日	御尊父御逝去は実に意外、兄の出征無事を願う	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	
13	是永美治郎書簡	是永美治郎	米村靖雄	[明治37年]4月9日	動員下令内命後の近況報告	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	
14	友野盛書簡	友野盛	米村靖雄	明治38年2月9日	佳人の見舞感謝、目下当地の有様は新聞既に尽す	墨書	封緘葉書		1通		
15	長岡護全書簡	長岡護全	米村靖雄	明治37年1月	年賀状	墨書	葉書		1通		
16	乃木保典書簡	乃木保典	米村靖雄	明治37年1月9日		墨書		封筒のみ	1枚		
17	古口新吾書簡	古口新吾	米村靖雄	[大正]8年7月8日	ご丁寧なるご来示委細元帥へ伝えた、簡閲点呼のため郡部出張の由ご苦労恐察	墨書			1通	封筒、1点	
18	古口新吾書簡	古口新吾	米村靖雄	[大正]9年1月31日	公寿閣下病むという新聞記事は誤りなのでご安心願う	墨書			1通	封筒、1点	
19	古口新吾書簡	古口新吾	米村靖雄	[大正]9年2月8日	ご書簡の趣委曲閣下に申上げた、写真もそのうち差し上げる	墨書			1通	封筒、1点	
20	古口新吾書簡	古口新吾	米村靖雄	[大正]9年2月25日	元帥閣下の御署名・御写真贈与に対する書状拝見、当地の流感ほぼ終息	墨書			1通	封筒、1点	
21	古口新吾書簡	古口新吾	米村靖雄	[大正]9年3月11日	青年改造連盟団の不法の様子について報告、有光様身上お掛合感謝	墨書			1通	封筒、1点	
22	古口新吾書簡	古口新吾	米村靖雄	[大正]9年3月22日	千駄ヶ谷で大火の由お見舞、元帥閣下は歯の治療のため予定通り24日に上京す	墨書			1通	封筒、1点	
23	古口新吾書簡	古口新吾	米村靖雄	[大正]10年9月16日	元帥閣下は風気なるも東宮閣下お召しにより本日上京、有光様の診察結果について	墨書			1通	(1)報知新聞切抜、1枚 / (2)封筒、1点	
24	古口新吾書簡	古口新吾	米村靖雄	大正11年4月12日	故元帥閣下の御片身分けとして軍服一着差し上げる	墨書			1通	封筒、1枚	

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
25	本川省三書簡	本川省三	米村靖雄	大正12年6月29日	校歌への意見取りまとめの約束	ペン	葉書		1通		
26	松木書簡	松木	米村靖雄	大正12年7月24日	貴訳「マクス・シェーレル氏ノ反感ノ哲理的考察ニ就テ」拝読	ペン	葉書		1通		
27	松永正敏書簡	松永正敏	米村靖雄	明治42年1月1日	年賀状	墨書	葉書		1通		
28	山県有朋書簡	山県有朋	米村靖雄	大正8年5月	病氣平復のあいさつ	印刷			1通	封筒、1点	
29	山県有光書簡	山県有光	米村靖雄	[大正]8年5月7日	高熱のため明日より約一週間長者町へ参る所存	墨書			1通	封筒、1点	
30	山県有光書簡	山県有光	米村靖雄	[大正]8年5月16日	海辺の療養効果あり明日帰校の予定	墨書			1通	封筒、1点	
31	山県有光書簡	山県有光	米村靖雄	[大正]8年6月1日	帰校後は元気頗る旺に学術科に復す	墨書			1通	封筒、1点	
32	山県有光書簡	山県有光	米村靖雄	[大正]10年9月30日	兵科志願につきご示教賜りたし、父の帰朝は12月初旬の由	墨書			1通	(1)採用人員数表、1枚 / (2)封筒、1点	
33	山県有光書簡	山県有光	米村靖雄	[大正]10年10月23日	19日より習志野で教練	ペン	絵はがき		1通		
34	山県有光書簡	山県有光	米村靖雄	[大正]10年10月31日	平井閣下の診察結果は異状なし、閣下とご相談下されたい、志願すべき兵科につき高教願う	ペン			1通		
35	山県有光書簡	山県有光	米村靖雄	[大正]10年11月20日	大演習めでたく終了も小生は捻挫のため参加できず	ペン			1通	封筒、1点	
36	山県有光書簡	山県有光	米村靖雄	大正13年11月8日	陸軍士官学校の教授方針変更の様子について	墨書			1通	封筒、1枚	
37	山県有光書簡	山県有光	米村靖雄	20日	先日ご来校時面晤叶わず遺憾、近く年末年始休暇あるべくその折お話したし	ペン	絵はがき		1通		
38	山県有光書簡	山県有光	米村靖雄	27日	習志野出張より帰校、31日に平井閣下の診断を仰ぐ	ペン	絵はがき		1通		
39	山県伊三郎書簡	山県伊三郎	米村靖雄	大正8年4月26日	山県有朋副官在任中のことにつき感謝	墨書			1通	封筒、1枚	
40	山県伊三郎書簡	山県伊三郎	米村靖雄	大正11年3月22日	忌明け挨拶状	印刷			1通	(1)封筒、1枚 / (2)山県有朋戒名、1枚	
41	山県伊三郎書簡	山県伊三郎	米村靖雄	大正11年3月25日	山県有朋一座法要修行の案内	印刷			1通	(1)封筒、1枚 / (2)リボン記章、1点	
42	山県伊三郎書簡	山県伊三郎	米村靖雄	大正13年1月24日	山県有朋三回忌について	墨書			1通	封筒、1枚	
43	行■書簡	行■	米村靖雄	大正12年4月7日	六日に天草に着いた	ペン	葉書		1通		
44	行■書簡	行■	米村靖雄	大正12年4月8日	法華経について	ペン	葉書		1通		
45	独文書簡		米村靖雄	1924年1月10日		ペン			1通	封筒、1枚	
46	米村靖雄書簡	米村靖雄	米村光子	明治37年8月12日	戦地での近況	墨書	罫紙		1通	(1)8月7日付米村靖雄書簡、1枚 / (2)封筒、1枚	
47	米村靖雄書簡	米村靖雄	米村光子	明治37年8月21日	知己の近況について、小哨長勤務について	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	
48	米村靖雄書簡	米村靖雄	米村光子	明治37年9月12日	遼陽戦の状況など近況報告	墨書			1通	封筒、1枚	
49	米村靖雄書簡	米村靖雄	米村光子	明治37年9月21日	旅順も遠からず攻略か、爾後の作戦は頓と判明せず満洲軍全般の状況も内地の新聞で初めて知る姿	墨書			1通	(1)10月5日付米村靖雄書簡、1枚 / (2)封筒、1枚	
50	米村靖雄書簡草稿	米村靖雄	山県有朋	大正8年6月5日	平復祝い	墨書	罫紙		1枚		

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
51	米村靖雄書簡	米村靖雄	米村健	大正8年6月25日	習志野演習時の様子	ペン	葉書		1通		51,133,264～274,276～278はもと封筒に入れられていた
52	米村靖雄書簡草稿	米村靖雄	古口新吾	大正8年7月6日	山県元帥より服地を頂戴したことの礼	墨書			2枚		
53	米村靖雄書簡	米村靖雄	小倉行之	大正12年1月1日	年賀状	印刷	葉書	宛所不明につき返送されたもの	1通		
54	米村靖雄書簡写	米村靖雄	石田教授	大正12年6月25日	母校校歌案送付す、ご修正のうえ7月15日までにご返送願う	謄写			1通		
55	米村靖雄書簡	米村靖雄	石田教授	大正12年7月16日	母校校歌の歌詞について	謄写			同文4通		
56	米村靖雄書簡草稿	米村靖雄	鎌田正威 (台湾総督府専売局)		明石將軍言行録について	鉛筆	陸軍野紙		1枚		
<b>1.2 米村靖雄家族宛書簡・米村靖雄家族書簡</b>											
57	伊佐一男書簡	伊佐一男	米村千代	[大正14年]3月27日	昨夜のご馳走感謝、昨夜は失念したが長崎大尉からの挨拶を申し上げる	墨書			1通	(1)長崎守一名刺、1枚 ／(2)封筒、1枚	
58	伊勢神宮式年遷宮奉賛会熊本地方本部書簡	伊勢神宮式年遷宮奉賛会熊本地方本部	米村千代			印刷		封筒のみ	1枚		58,153,284,290,299,302,303,344,345はもと封筒一括
59	鎌田正信書簡	鎌田正信	志摩・米村	7月1日	「コサック」騎兵のために貫通銃創を受け療養中	鉛筆			1通		
60	熊本市役所書簡	熊本市役所	米村千代	大正14年2月26日	家督相続届は既に23日届出済みのため返戻す	ペン			1通	(1)家督相続届、1枚 ／(2)4月25日付熊本市役所戸籍係メモ、1枚 ／(3)封筒、1枚	
61	坪井善明書簡	坪井善明	米村千代子		昨夜はご馳走になり有難し、司令部に10部頂きたい	墨書	野紙		1枚	差し上げ先リスト、2枚	
62	長野省吾書簡	長野省吾	米村光子	[明治37年]9月19日	文治よりの手紙に靖雄様についてのことがあったのでお知らせす	墨書			1通		
63	長野伴次郎書簡	長野伴次郎	米村光	[明治37年]10月6日	遼陽での戦いで負傷した米村靖雄の入院中のことにつき	墨書			1通	封筒、1枚	
64	長野文治書簡	長野文治	米村光子	[明治37年]9月10日	ご子息は首山堡の戦闘で銃創を受けたるも昨日全治ご退院ゆえ安心願う	墨書			1通		
65	船木哲蔵書簡	船木哲蔵	米村健	大正14年3月25日	先般はご生涯中の最大不幸に遭遇され深くご同情す、米村靖雄の遺影・米村靖雄伝送付感謝	墨書			1通	封筒、1枚	
66	細見寿夫書簡	細見寿夫	米村千代子	4月16日	坪井善明よりの伝言として渡辺錠太郎への米村靖雄伝送付と別包の上田中佐への手交を依頼す	ペン	陸軍野紙		1通		
67	細見寿夫書簡	細見寿夫	米村千代子	6月2日	別紙証票参謀本部より送付につき回送す、領収証並びに死亡届認めおいたのでご捺印の上直接賞勲局まで送付相成りたし	ペン	陸軍野紙		1通	(1)記章ヲ賜ハリタル者届出心得、1枚 ／(2)封筒、1枚	

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
68	三宅書簡	三宅(少佐)	米村千代		米村靖雄葬儀等に伴う諸支払いや寄留届などの手続きについて	墨書	罫紙		1通	(1)武相看護婦会領収証、1枚 / (2)封筒、1枚	
69	米村健書簡	米村健	中村香	大正14年4月5日	忌明け挨拶状	印刷		受信人なしにつき返送されたもの	1通	封筒、1枚	
70	米村健書簡	米村健	近衛歩兵第一連隊将校団	大正14年4月5日	忌明け挨拶状	印刷			1通	封筒、1枚	
71	米村千代書簡	米村千代	坪井善明	大正14年2月18日		墨書		封筒のみ	1枚		
<b>1.3 その他書簡</b>											
72	伊東巳代治書簡	伊東巳代治	山県有朋	大正7年4月18日		墨書		封筒のみ	1枚		
73	乾淡江書簡	乾淡江	坪井善明	大正14年3月8日		墨書		封筒のみ	1枚		
74	上田■書簡	上田■	坪井善明	大正14年3月11日		墨書		封筒のみ	1枚		
75	梅津書簡	梅津(大佐)	坪井善明	大正14年3月4日		ペン		封筒のみ	1枚		
76	梅津書簡	梅津(大佐)	坪井善明	3月5日	現地戦場出張等で遅くなったが別紙差し上げる	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	
77	清野書簡	清野	■・坪井善明	2月19日	米村君の尉官時代の思い出を送る	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	
78	参謀総長書簡	参謀総長	山県有朋	大正7年9月14日		印刷		封筒のみ	1枚		
79	桂太郎書簡	桂太郎(陸軍中将)	野津道貫			墨書		封筒のみ	1枚		
80	長崎大尉書簡	長崎(大尉)	三宅(少佐)・竹下(大尉)	3日	葬儀に関する事務的打合せ	墨書			1通	封筒、1枚	80,275,279,280,283,286~289,333,346はもともとと同じ紙袋に入れられていた
81	船木哲蔵書簡	船木哲蔵	坪井善明	大正14年2月14日	幼少時代無二の交友たりし米村靖雄の永眠に驚愕、兄等の米村伝編纂には賛成、今夕ただいまより原稿を物す	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	
82	船木哲蔵書簡	船木哲蔵	坪井善明	大正14年2月16日	原稿とりあえず急ぎ送付す、両三日中に追加送付のつもり	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	
83	船木哲蔵書簡	船木哲蔵	坪井善明	大正14年2月18日	先便のほか逸話を御送りす	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	
84	真崎甚三郎書簡	真崎甚三郎	坪井善明	2月27日	別紙適当にご修正願う、黒田重徳少佐の蔵書を用立てたことについて	墨書			1通	封筒、1枚	
85	村田書簡	村田(大尉)	坪井善明	2月24日	故米村中佐に関する随感について	鉛筆	陸軍罫紙		1通	封筒、1枚	
86	茂庭ふさ書簡	茂庭ふさ	坪井善明	大正14年3月10日		墨書		封筒のみ	1枚		
87	山県有朋書簡(写)	山県有朋	徳川家達	大正6年6月25日	華族風紀廢頽を憂慮し愚見を御一覽に供す	カーボン	陸軍罫紙	山県有朋意見書同綴	1綴		
88	山県有朋書簡(写)	山県有朋	大庭二郎(第三師団長)	大正7年11月8日	我が出征軍隊が危険思想に感染せぬよう訓諭指導が必要、列国間利権調整は円満を主として思慮を尽くされたし	墨書			1綴		
89	山県有朋書簡	山県有朋	上原勇作			墨書		封筒のみ	1枚		

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
<b>2. 日記・手帳・メモ</b>											
<b>2.1 日記</b>											
90	日記(「余ガ思想発達史」)	米村靖雄		明治32年8月～明治32年9月22日		墨書	罫紙		1綴	メモ、1綴	
91	日記(「精神的年代記」)	米村靖雄		明治32年9月29日～明治32年12月		墨書	罫紙		1綴		
92	日記(「哲学レンズ真理ノ光」)	米村靖雄		明治33年11月9日～明治34年2月4日		ペン	ノート	破損	1冊		
93	日記(「余ガ哲学思想発達史」)	米村靖雄		明治33年11月17日～		墨書		表紙のみ。	1枚		
94	日記(「余ガ哲学思想発達史」)	米村靖雄		明治34年2月5日～明治34年5月10日		ペン	ノート	破損	1冊		
95	日記断片	米村靖雄		明治34年4月7日～明治34年4月14日		鉛筆			2枚		
96	日記断片	米村靖雄		明治34年4月12日～明治34年4月15日		墨書、ペン			2枚		
97	日記(「予ガ哲学思想発達史 第三号」)	米村靖雄		明治34年5月11日～明治34年7月27日		ペン	ノート	破損	1冊		
98	日記(「予ガ哲学思想発達史」)	米村靖雄		明治34年8月1日～明治34年10月9日		ペン	ノート		1冊		
99	日記(「予ガ哲学思想発達史」)	米村靖雄		明治34年10月10日～明治34年11月5日		ペン	ノート		1冊		
100	日記(「予ガ哲学思想発達史・予ガ哲学的自伝」)	米村靖雄		明治34年11月5日～明治34年12月1日		ペン	ノート	破損	1冊		
101	日記(「予ガ哲学思想発達史・予ガ哲学的自伝」)	米村靖雄		明治34年12月2日～明治35年1月6日		ペン	ノート		1冊		101,116,117はもと新聞紙で一括されていた
102	日記(「予ガ哲学思想発達史・予ガ哲学的自伝」)	米村靖雄		明治35年1月7日～明治35年2月10日		ペン	ノート		1冊		
103	日記	米村靖雄		明治35年2月11日～明治35年3月5日		ペン	ノート		1冊		
104	日記	米村靖雄		明治35年3月6日～明治35年3月31日		ペン	ノート		1冊		
105	日記	米村靖雄		明治35年4月1日～明治35年4月26日		ペン	ノート		1冊		
106	日記	米村靖雄		明治35年4月27日～明治35年6月18日		ペン	ノート		1冊		
107	日記	米村靖雄		明治35年6月19日～明治35年7月31日		ペン	ノート	雑誌『太陽』切抜同綴	1冊		
108	日記	米村靖雄		明治36年12月10日～明治36年12月30日		ペン	ノート		1冊		
109	日記	米村靖雄		1905年9月11日～1905年12月1日		ペン	ノート		1冊	差出人未記入ハガキ、1通(裏表紙裏に挟み込み)	
110	日記	米村靖雄		1906年1月1日～1906年4月28日		ペン	ノート		1冊		
111	日記	米村靖雄		1906年5月1日～1906年8月31日		ペン	ノート		1冊	メモ、2枚	
112	日記	米村靖雄		1906年9月1日～1906年12月31日		ペン	ノート		1冊		

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
113	日記	米村靖雄		1907年1月1日～1907年4月15日		ペン	ノート		1冊		
114	日記	米村靖雄		1907年7月1日～1907年9月30日		ペン	ノート		1冊		
115	日記	米村靖雄		1907年10月1日～1907年12月31日		ペン	ノート		1冊		
116	日記	米村靖雄		1908年1月1日～1908年4月22日		ペン	ノート		1冊		101,116,117はもと新聞紙で一括されていた
117	日記	米村靖雄		1908年4月23日～1908年5月9日		ペン	ノート		1冊		101,116,117はもと新聞紙で一括されていた
118	日記	米村靖雄		1908年5月16日～1908年12月17日		ペン	ノート		1冊		
119	日記	米村靖雄		1908年12月17日～1909年4月25日		ペン	ノート	独文	1冊	米村靖雄身元証明書、1枚(1909年4月8日・9日の部分に挟み込み)	
120	日記	米村靖雄		1910年2月20日～1915年9月28日		ペン	ノート	間には抜けている期間あり	1冊		
121	日記	米村靖雄		1910年2月25日～1915年12月27日		ペン	ノート	間には抜けている期間あり	1冊		
122	日記	米村靖雄		1916年1月1日～1922年12月14日		ペン	ノート	間には抜けている期間あり	1冊		
123	日記			[大正5年]5月9日～10月21日		鉛筆			1冊		
124	日記	米村靖雄		1918年1月1日～1918年12月31日		ペン	ノート		1冊		124,129,131,132はもと新聞紙で一括されていた
125	日記	米村靖雄		1918年8月30日～1919年2月15日		ペン	ノート		1冊		
126	日記	米村靖雄		1919年5月8日～1920年4月11日		ペン	ノート		1冊		
127	日記	米村靖雄		1922年1月1日～1922年9月9日		ペン	ノート		1冊	(1)年賀状、3枚(表紙裏にクリップ留) / (2)はがき、2枚 / (3)新聞記事切抜、1枚 / (4)未開封封書、1枚(2～4は裏表紙裏にク	
128	日記	米村靖雄		1922年9月10日～1922年12月31日		ペン	ノート		1冊		
129	日記	米村靖雄		1923年1月1日～1923年12月12日		ペン	ノート	破損	1冊		124,129,131,132はもと新聞紙で一括されていた
130	日記	米村靖雄		1923年3月12日～1924年11月7日		ペン	ノート	間には抜けている期間あり	1冊		
131	日記	米村靖雄		1924年1月1日～1924年12月31日		ペン	ノート		1冊	日露戦争戦没者追悼文、1綴(1924年11月7日に挟み込み)	124,129,131,132はもと新聞紙で一括されていた

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
132	日記	米村靖雄		1924年12月31日～1925年1月31日		ペン	ノート		1冊		124,129,131,132はもと新聞紙で一括されていた
133	日記(「覚1」)	米村靖雄		11月6日～翌年12月23日		ペン	ノート		1冊	(1)米村靖雄死去通知、3枚(表紙裏に挟み込み) / (2)伸雄ノ病氣経過ノ概要、1綴 / (3)松田五十二書簡、1通 / (4)山県有朋名刺(包紙入)、1枚(2～4は一年目の11月18日条に挟み込み)	51,133,264～274,276～278はもと同じ封筒に入れられていた
134	日記断片	米村靖雄				鉛筆			2枚		
135	日記別冊(「避暑の楽しみ」)					墨書	罫紙		1綴		
136	日記断片	米村靖雄				墨書			6枚		
<b>2.2 手帳</b>											
137	手帳(Pocket Diary)	米村靖雄		大正5年		ペン			1冊		
138	手帳(Pocket Diary)	米村靖雄		大正6年		ペン			1冊		
139	手帳(Pocket Diary)	米村靖雄		大正7年		ペン			1冊		
140	手帳(Pocket Diary)	米村靖雄		大正8年		ペン			1冊		
141	手帳(Pocket Diary)	米村靖雄		大正10年		ペン			1冊		
142	手帳(Pocket Diary)	米村靖雄		大正11年		ペン			1冊		
143	手帳(Pocket Diary)	米村靖雄		大正12年		ペン			1冊		
144	手帳(Pocket Diary)	米村靖雄		大正13年		ペン			1冊		
145	手帳(Pocket Diary)	米村靖雄		大正14年		ペン			1冊		
<b>2.3 メモ</b>											
146	[学習内容メモ]	米村靖雄		明治33年～明治34年		墨書			1綴		
147	[米村靖雄思想メモ]	米村靖雄		1月23日・24日		墨書			1綴		
148	[人名リスト]	米村靖雄				ペン			1冊		
149	[ヘーゲル理論についてメモ]	米村靖雄				墨書			1枚		
150	[井上哲次郎「十九世紀の哲学」写]	米村靖雄		明治33年8月12日		墨書			1綴		
151	[山辺文学士講義ノート]					ペン	陸軍中央幼年学校罫紙		2枚		
152	[人名メモ]					墨書、鉛筆			2枚		
153	[配置図メモ]					鉛筆	陸軍罫紙		1枚		58,153,284,290,299,302,303,344,345はもと封筒一括
154	[原稿・メモ綴]					鉛筆・墨書	罫紙		1綴		

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
155	[ドイツ関係資料リスト]					ペン	罫紙		1綴		155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
<b>3. 米村靖雄軍務関係</b>											
<b>3.1 履歴関係</b>											
156	卒業証書(熊本陸軍地方幼年学校)	江橋貞雄(熊本陸軍地方幼年学校長)	米村靖雄	明治33年7月10日		墨書			1枚		156~160の資料はもと筒で一括されていた
157	卒業証書(陸軍中央幼年学校)	伊崎良熙(陸軍中央幼年学校長)	米村靖雄	明治35年5月30日		墨書			1枚		156~160の資料はもと筒で一括されていた
158	[辞令](命士官候補生)	教育総監部	米村靖雄	明治35年5月31日		墨書	教育総監部罫紙		1枚		156~160の資料はもと筒で一括されていた
159	卒業証書(陸軍士官学校)	高木作蔵(陸軍士官学校長)	米村靖雄	明治36年11月30日		墨書			1枚		156~160の資料はもと筒で一括されていた
160	陸軍士官学校第十五期生徒卒業人名			明治36年11月		印刷			2枚		156~160の資料はもと筒で一括されていた
161	[歩兵第二十三連隊第二中隊歩兵少尉軍歴書]					墨書	陸軍罫紙		3枚		
162	戦役履歴書	米村靖雄			日露戦争時の戦役履歴書	墨書	熊本陸軍地方幼年学校罫紙	(1)戦役履歴書ひな形、1枚 / (2)戦役履歴書下書き、2枚 / (3)沙河付近戦闘図、2枚 (4)包紙(鉛筆で「出征間ノ所感」が記される)、1枚	1綴		
163	第二■沙河会戦記事					鉛筆	陸軍罫紙		1綴		
164	[浪子街付近戦闘図]					鉛筆	罫紙		2枚		
<b>3.2 訳文・著述</b>											
165	『軍人独逸語読本』下巻	清野孝蔵・米村靖雄[共編]、森邦武[校閲]		明治45年5月		印刷			1冊		

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
166	中隊ノ戦闘教育	フォン・トロイロ(普国歩兵大尉)[著]、米村靖雄[訳]		大正3年10月		ペン	陸軍野紙	劣化・破損	1綴	紹介文、1枚(表紙裏に挟み込み)	155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
167	「東亜ト欧州、世界ニ文化ノ競争」(伝導監督神学博士ヨット、ウキッテ氏著)ヲ読ム	米村靖雄(陸軍歩兵大尉)		大正4年6月		謄写			1綴		167,169,171はもと新聞紙一括
168	世界戦争ニ於ケル日本及支那問題	ドクトル・ハー・シュミット[述]、米村靖雄[摘訳]		1915年7月		ペン	陸軍野紙		1綴		155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
169	フィヒテ述(独逸国民に告ぐ)第八講「真の国民とは何ぞや、祖国愛とは何ぞや」ノ要旨ヲ布衍シテ	米村靖雄		大正7年1月25日		謄写	陸軍野紙		1綴		167,169,171はもと新聞紙一括
170	白国の義戦ノ稿ヲ読ム	米村靖雄		大正7年10月6日		墨書		88を挟む	1枚	下書き、1枚	
171	「何故吾人ハ負ケタルカ」(摘訳)	ゲオルグ・ゴータイン(独逸国議会代議士)[著]、米村靖雄[訳]		大正8年8月		謄写			1綴		167,169,171はもと新聞紙一括
172	休職大将エリヒフォンアルケンハイン独逸最高統帥(1914年ヨリ1916年ニ至ル重要ナル決心)ノ摘要	米村靖雄		大正9年3月		謄写		破損	1綴	(1)荒木貞夫書簡、1通 / (2)稲垣孝照書簡、1通 / (3)林書簡、1通 / (4)欧州戦争経過一覧図、1枚	155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
173	マクス・シーレーレル氏ノ反感ノ哲理的考察ニ就テ	米村靖雄	上原勇作	大正12年6月29日		ペン	野紙		1綴	謄写したもの、同文3綴	

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
174	『小守備隊』	ビルゼ[著]				墨書		Fritz Oswald Bilse" Aus einer kleinen Garnison" を訳したもの。後欠	1綴		155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
175	「パウルゼン」博士ノ人生観ヲ背景トセル普国憲法	米村靖雄				ペン	陸軍 罫紙	偕行社記事第五百七号附録の原稿	1綴		155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
176	震災直後ノ非違ヲ断スルニハ先ツ 当時ノ環境ヲ顧慮スルヲ要ス			大正12年11月7日		鉛筆	罫紙		1綴		
177	甘粕大尉事件ノ倫理哲学的考察ノ参考	米村靖雄				謄写			同文4綴	(1)鉛筆書きのもの、1綴 / (2)断簡、2枚	
178	国防思想普及ノ為軍部ノ為スヘキ 施設及方法ニ関スル意見	米村靖雄		大正12年		ペン	罫紙	劣化	1綴		155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
179	警備上ヨリ見タル独逸革命研究資料 其一	米村靖雄		大正13年8月	ゲオルグ・ゴータイン「吾人ハ何故ニ敗レタルカ」	ペン	陸軍 罫紙		1綴	謄写したもの、1綴	

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
180	警備上ヨリ見タル独逸革命研究資料 其二	米村靖雄			グエンテル「革命ノ教訓」	ペン	陸軍野紙		1綴	謄写したもの、1綴	155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
181	警備上ヨリ見タル独逸革命研究資料 其三	米村靖雄		大正13年10月		ペン	陸軍野紙	破損	1綴	(1)謄写したもの、1綴／(2)名吟集、4枚(謄写版の36丁と37丁の間に挟み込まれていた)	
182	御参考ノ為ノ論理ノ梗概	米村靖雄		大正13年11月11日		謄写			同文4枚	鉛筆書きの原稿、1枚	
183	国民的反省	米村靖雄		大正13年12月17日		鉛筆	野紙		1綴	メモ(「甘粕大尉事件」と記載あり)、1枚	
184	〔思想的年代記論文綴〕	米村靖雄		明治31年～明治35年		墨書	野紙		1綴	メモ、1枚	
185	〔詠草断簡〕	米村靖雄		明治33年1月17日		墨書			1枚		
186	「余ガ人生観」	米村靖雄		明治33年5月5日		墨書			1枚		
187	「実在論的立脚地ヨリノ宗教及文学観」	米村靖雄		明治33年6月8日		墨書			1綴		
188	「予ガ人生観」	米村靖雄		明治33年6月14日		墨書			1枚		
189	信仰ニ就テ	米村靖雄		大正9年3月16日		ペン			1綴		155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
190	理解より信仰へ	米村靖雄		大正10年		ペン	野紙	劣化・破損	1綴		155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
191	「花の戯言」草稿	米村靖雄		4月11日		墨書			1枚		

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
192	「余ガ倫理思想変遷史」草稿	米村靖雄		10月1日～10月22日		墨書			1綴		
193	「文学論及美」草稿	米村靖雄				鉛筆			1枚		
194	「漫筆」	米村靖雄				墨書			1枚		
195	歌詞「此写真」草稿	米村靖雄				墨書			1枚		
196	歌詞「秋の蝶」草稿	米村靖雄				墨書			1枚		
197	歌詞「友情」草稿	米村靖雄				鉛筆			1枚		
198	〔校歌歌詞〕					謄写			3枚		155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
199	〔詠草断簡〕	米村靖雄				鉛筆			1枚		
200	〔明石将軍の人柄について〕					カーボン	陸軍野紙		1綴	鉛筆書きの原稿、1綴	
201	〔キルヒマンの哲学についてメモ〕					謄写			1枚		
<b>3.3 山県有朋副官勤務関係</b>											
202	山県元帥副官申送事項	岡少佐		大正5年		カーボン	陸軍野紙		1綴		
203	〔護符カ〕				「敵国降伏」	印刷		裏面に「大正六年十二月二十日山県元帥手ヲ之ヲ予ニ与ヘラル」と記載あり	1枚		
204	露独国境素図	参謀本部調製、陸地測量部製版		大正3年8月		印刷、鉛筆		二百万分の一	1枚		
205	〔日清戦役に関する外交機密書リスト〕					朱墨書	元帥府野紙		1枚		
206	〔意見書類リスト〕					朱墨書	元帥府野紙		1枚		
207	目次(第三号)					墨書	陸軍野紙		1枚		
208	支那ニ関スル書類一				雑・報告の部	墨書	枢密院野紙		1枚		
209	〔メモ帳〕			4月11日～4月29日	「昨年度ニ於ケル元帥ノ意見集」編纂など書類整理の記録、吉江大尉への覚書	ペン、墨書			1冊		

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
210	山県元帥ノ建議項目			大正7年8月14日・15日調査		カーボン	元帥府野紙	212、235～236を挟んでいた	1綴	建議要録ニ追加ノ分、1綴	
211	建議要録外ノ綴ニ存スル元帥ノ建議(軍事ニ関スルモノヲ除ク)			大正7年10月3日		墨書	元帥府野紙		1枚	下書き、2枚	
212	建議要録ニ追加ノ分	米村靖雄		大正8年4月14日		墨書	野紙	235～236を挟んでいた	1綴		
213	米国大統領教書			大正7年1月6日		カーボン	元帥府野紙		1綴		
214	[諸国公使の夫人有無につきメモ]					ペン			1枚		
215	[ゼヤ川付近戦闘図]			[大正7年]		印刷・鉛筆			1枚		
216	[ゼヤ川付近戦闘図]			[大正7年]		謄写			1枚		
217	[パウロフスコエ]付近要図					謄写			1枚		
218	上奏案				本年5,6月の交に特命検閲使を簡派し検閲実施せしめられたし	蒟蒻版			1綴		
219	各国祝節一覧表	参謀本部		大正8年1月		印刷			1枚		
220	田中・渡辺両伯ニ対スル物議			[大正8年]		カーボン	野紙		1綴		
221	田中光顕伯排斥運動ニ関スル件 諜報			大正8年2月2日		カーボン	野紙		1枚		
222	[田中伯の進退問題に関する幸倶楽部男爵議員連の態度]			大正8年3月5日		謄写	野紙		1枚		
223	貴族社会ノ内訌問題(諜報)			大正8年3月12日		謄写	野紙		1枚		
224	[外地発日本宛電報写綴]	参謀本部		大正8年4月18日		謄写			1綴		
225	安国論御製作高祖御影					印刷		大正8年山県元帥病氣平癒祈願のために授かったもの	1枚	包紙、2枚	
226	[副官等人名メモ]					ペン・墨書	陸軍野紙		3枚		
227	[二月二十五日～三月六日報告摘要]					ペン			1綴		227～234はもと封筒一括
228	[三月七日～三月十四日報告摘要]					ペン	野紙	表紙に「2」と記載あり	1綴		227～234はもと封筒一括
229	[三月十五日～四月四日報告摘要]			大正8年		ペン	通信用箋	表紙に「3」と記載あり	1綴		227～234はもと封筒一括
230	[四月八日～四月十四日報告摘要]					ペン	野紙	表紙に「4」と記載あり	1綴		227～234はもと封筒一括
231	四月十七日報告摘要					ペン	陸軍野紙		1綴		227～234はもと封筒一括
232	[プロイセン王系図メモ]					ペン	野紙		1枚		227～234はもと封筒一括
233	[ロシア政府要人人名表]					ペン	野紙		1枚		227～234はもと封筒一括
234	[新聞記事切抜]				国際連盟関係ほか	印刷			8枚	封筒(「国際連盟」と記載あり)、1枚	227～234はもと封筒一括
235	貸与馬払下許可証	陸軍大臣	米村靖雄	大正8年4月16日		墨書	陸軍野紙	236を挟んでいた	1枚		

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
236	〔中国各省名略称表〕					ペン	陸軍 罫紙		1枚		
237	〔品川駅付近略図〕					墨書	電報 頼信紙		1枚		
238	〔葬儀関係メモ〕					墨書			1綴		
239	〔葬儀関係メモ〕					墨書			1枚		
240	〔山県有朋葬儀日程表〕					謄写			1枚		
241	通夜ニ関スル件通牒	山県公爵国葬委員	米村靖雄	大正11年2月4日		謄写			1枚		
242	二月四日夜通夜人名					墨書			3枚		
243	通知	清浦奎吾(葬儀委員長)	米村靖雄	大正11年2月6日		謄写			1枚		
244	二月七日夜御通夜人名					墨書			1枚		
245	勳章捧持配列図					謄写			1枚		
246	勳章捧持者ヨリ葬儀委員ニ至ル行列順位図表					謄写			1枚		
247	勳章捧持者ヨリ葬儀委員ニ至ル行列順位図表					謄写			1枚		
248	故山県公爵追弔法要差定	築地本願寺		大正11年4月9日		印刷			1枚		
249	椿山荘記					墨書	罫紙		2枚		
250	椿山七景					墨書			1枚		
251	〔兵備に関する漢文〕					墨書			1枚		
252	〔漢文意見書草稿〕				「容清蘭二国通商而...」	墨書			1枚		
253	〔股野達軒古稀祝の書〕	山県有朋		明治17年11月2日		墨書			1枚		
254	〔序文〕	山県有朋		明治20年1月		墨書			1枚		
255	目録表					墨書			1枚		
256	〔遺墨集の序〕	山県有朋		明治12年8月		墨書	絹		1枚		
257	〔含雪書綴〕	山県有朋				墨書	罫紙		1綴		
258	〔漢詩書付〕				「藤澤暁発」ほか	墨書			1枚		
259	山県有朋名刺					印刷			3枚	包紙、1枚	
260	自治制度二十五周年記念会色紙	山県有朋				墨書			1枚		
261	〔青年団に与える和歌〕	山県有朋			つとめよや若く満ちたるちからも て村のためにも国の為にも	墨書			1枚		
262	山県有朋詠草	山県有朋			外国のいくさの場をあさなゆふな はせめぐりゆく我こころかな	墨書			1枚	包紙、1枚	
263	『山県公のおもかげ』	入江貫一		昭和5年6月25日		印刷		増補再版	1冊	新聞切抜、1枚(序1頁に挟み込み)	155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
<b>3.4 招待状ほか</b>											
264	熊本での宴会への招待状	宮内大臣	米村徳隆	明治35年11月3日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた
265	岡山市での宴会への招待状	宮内大臣	米村靖雄	明治43年11月6日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた
266	特別大演習終了後の名古屋市での宴会への招待状	渡辺千秋(宮内大臣)	米村靖雄	大正2年11月12日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた
267	特別大演習終了後の賜饌への招待状	波多野敬直(宮内大臣)	米村靖雄	大正3年11月11日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた
268	特別大演習終了後の弘前市での宴会への招待状	波多野敬直(宮内大臣)	米村靖雄	大正4年10月11日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた
269	大饗第一日招待状	波多野敬直(宮内大臣)	米村靖雄	大正4年11月1日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた
270	特別観艦式時の賜餐への招待状	波多野敬直(宮内大臣)	米村靖雄	大正4年12月2日		印刷			1通	(1)別紙、1枚 / (2)封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた
271	特別大演習終了後の福岡市での宴会への招待状	波多野敬直(宮内大臣)	米村靖雄	大正5年11月1日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた
272	特別大演習終了後の彦根町での宴会への招待状	波多野敬直(宮内大臣)	米村靖雄	大正6年11月1日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた
273	特別大演習終了後の賜饌への招待状	波多野敬直(宮内大臣)	米村靖雄	大正7年11月1日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた
274	観菊会招待状	中村雄次郎(宮内大臣)	米村靖雄・令夫人	大正9年11月13日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもとと同じ封筒に入れられていた

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
275	特別大演習終了後の賜饌への招待状	牧野伸顕(宮内大臣)		大正10年11月10日		印刷			1通	封筒、1枚	80,275,279,280,283,286～289,333,346はもともとと同じ紙袋に入れられていた
276	観菊会招待状	牧野伸顕(宮内大臣)	米村靖雄・令夫人	大正11年11月15日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもともと封筒に入れられていた
277	李垠午餐会招待状	高義敬(李王職事務官伯爵)	米村靖雄	大正11年11月29日		印刷			1通	封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもともと封筒に入れられていた
278	午餐招待状	珍田捨巳(東宮大夫)	米村靖雄	大正13年5月29日		印刷		破損	1通	(1)別紙、2枚 / (2)封筒、1枚	51,133,264～274,276～278はもともと封筒に入れられていた
279	観菊会招待状	牧野伸顕(宮内大臣)	米村靖雄・令夫人	大正13年11月11日		印刷			1通	(1)別紙、1枚 / (2)封筒、1枚	80,275,279,280,283,286～289,333,346はもともとと同じ紙袋に入れられていた
280	李垠午餐会招待状	高義敬(李王職事務官伯爵)	米村靖雄	大正14年1月14日		印刷			1通	封筒、1枚	80,275,279,280,283,286～289,333,346はもともとと同じ紙袋に入れられていた
281	[米村靖雄訓話に対する感想綴]					ペン、鉛筆	罫紙		1綴		
<b>4. 米村靖雄葬儀関係・米村靖雄伝編纂関係</b>											
<b>4.1 米村靖雄葬儀関係</b>											
282	米村靖雄訃報	米村健(嗣子)・倉岡直熊(親戚総代)・秦真次(友人総代)		大正14年2月2日		印刷		裏面に香典メモあり	1通		
283	葬儀ニ関スル備忘	米村		大正14年2月		墨書		米村家葬儀	1綴		80,275,279,280,283,286～289,333,346はもともとと同じ紙袋に入れられていた
284	米村中佐葬儀ニ関スル書類綴			大正14年2月		墨書、鉛筆			1綴		58,153,284,290,299,302,303,344,345はもともと封筒一括
285	[人名メモ]					鉛筆			1枚		

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
286	弔問芳名簿	米村		大正14年2月		墨書		米村家葬儀	1綴		80,275,279,280,283,286～289,333,346はもともとと同じ紙袋に入れられていた
287	[弔文差出人住所氏名書上綴]					墨書		山県有朋葬儀関係カ	1綴		80,275,279,280,283,286～289,333,346はもともとと同じ紙袋に入れられていた
288	香典返予定					ペン	罫紙	綴じはずれ	1綴		80,275,279,280,283,286～289,333,346はもともとと同じ紙袋に入れられていた
289	[香典返品目別人名書上綴]					鉛筆		山県有朋葬儀関係カ	1綴		80,275,279,280,283,286～289,333,346はもともとと同じ紙袋に入れられていた
290	米村靖雄忌明け挨拶状	米村健		大正14年4月		印刷			同文4枚		58,153,284,290,299,302,303,344,345はもと封筒一括
291	米村健戸籍謄本	高崎守雄(熊本市長)		大正14年4月15日		謄写	罫紙	大正14年2月付米村靖雄戸籍謄本同綴	1綴	(1)年金継受願書につき東京府よりの指示、1枚 / (2)封筒、1枚	
292	[大正14年2月1日以降支出メモ]			[大正14年]		墨書	罫紙		1枚		292~298はもと封筒一括
293	[金銭出納メモ]			[大正14年]		墨書	罫紙		1枚		292~298はもと封筒一括
294	[金銭精算メモ]					墨書			1枚		292~298はもと封筒一括
295	[諸出費書上げ]					鉛筆			3枚		292~298はもと封筒一括
296	[金銭精算用計算メモ]					鉛筆			1枚		292~298はもと封筒一括
297	領収証	高橋米五郎		大正14年2月2日	皿・茶器など	ペン			1枚		292~298はもと封筒一括
298	領収証	犬童医院	米村靖雄	大正14年2月7日	医療費	ペン			1枚		292~298はもと封筒一括
299	受領証綴			大正14年2月	医療費・葬儀代・雑費	印刷、ペン			1綴		58,153,284,290,299,302,303,344,345はもと封筒一括

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
<b>4.2 『米村靖雄伝』編纂関係</b>											
300	明治三十七、八年日露戦役ニ於ケル中尉ノ戦闘略歴					鉛筆	陸軍罫紙	米村靖雄伝原稿カ	1綴	[米村靖雄伝原稿]、1枚	
301	『米村靖雄伝』	坪井善明		大正14年3月		印刷			1冊		
302	『米村靖雄伝』写真校正刷り					印刷			10枚		58,153,284,290,299,302,303,344,345はもと封筒一括
303	米村中佐伝資料					墨書、カーボン			1綴		58,153,284,290,299,302,303,344,345はもと封筒一括
304	[米村靖雄伝題字]					墨書			2枚	包紙、1枚	
<b>5. その他</b>											
<b>5.1 写真帳・アルバム・写真</b>											
305	『明治四十二年特別大演習写真帖』	特別大演習統監部[撮影]				印刷		破損	1冊		
306	『明治四十四年陸軍中央幼年学校予科卒業記念写真帖』					印刷			1冊		
307	『大正二年陸軍中央幼年学校予科卒業記念写真帖』			大正2年7月		印刷			1冊		
308	『大正二年特別大演習写真帖』	特別大演習統監部[撮影]				印刷		破損	1冊		
309	『大正三年特別大演習写真帖』	特別大演習統監部[撮影]				印刷		破損	1冊		
310	『大正震災写真集』	関東戒嚴司令部		大正13年3月5日		印刷		破損	1冊		
311	[米村靖雄写真アルバム]					印刷			1冊	林弥三吉書簡、1通	
312	[写真](学生服の少年の肖像写真)					印刷			1枚		
313	[写真](学生服の少年の肖像写真)					印刷		額入り	1枚		
314	[写真](海岸での軍事訓練)					印刷			1枚		314～330はもと「中学？演習」と書かれた封筒に一括されていた
315	[写真](学生服の少年たち集合写真)					印刷			1枚		314～330はもと「中学？演習」と書かれた封筒に一括されていた
316	[写真](学生服の少年たち海岸集合写真)					印刷			1枚		314～330はもと「中学？演習」と書かれた封筒に一括されていた
317	[写真](学生服の少年たち鳥居前集合写真)					印刷			1枚		314～330はもと「中学？演習」と書かれた封筒に一括されていた

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
318	[写真](禪姿の少年たち砂浜集合写真)					印刷		「東京湾要塞司令部検閲済 昭和12年7月26日第429号」と記載あり	1枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
319	[写真](学生服の少年たち入江集合写真)					印刷			1枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
320	[写真](学生服の少年たち体操写真)					印刷			1枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
321	[写真](学生服の少年たち湖前集合写真)					印刷			1枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
322	[写真](学生服の少年たち寺院前集合写真)					印刷			1枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
323	[写真](学生服の少年たち山門下集合写真)					印刷			1枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
324	[写真](行軍の少年たち集合写真)					印刷			1枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
325	[写真](少年少女行幸記念碑前集合写真)					印刷		クラブ写真館台紙つき	1枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
326	[写真](学生服の少年たち海岸集合写真)					印刷		クラブ写真館台紙つき	1枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
327	[写真](剣道部優勝時集合写真)					印刷			1枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
328	[写真](家族写真)					印刷			2枚		314～330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
329	[写真](戦車)					印刷			1枚		314~330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
330	[写真](プロペラ機)					印刷			1枚		314~330はもと「中学?演習」と書かれた封筒に一括されていた
331	肖像写真					印刷		米村夫妻カ	2枚		
332	[写真](軍人男性肖像)					印刷			1枚		
333	[写真](軍人男性肖像)					印刷			1枚		80,275,279,280,283,286~289,333,346はもともとと同じ紙袋に入れられていた
334	[写真](郊外邸宅)								1枚		
335	[写真](軍服男性ほか集合写真)					印刷			1枚		
336	[写真](富士演習)					印刷			1枚		
337	[写真](韓国鳥致院での集合写真)			明治41年6月4日		印刷			1枚		
338	[写真](ドイツ競馬場にて)			1909年5月15日~5月16日		印刷			2枚		
339	[写真](山梨半造肖像)					印刷			1枚		
340	[写真](長谷川好道肖像)					印刷	三越台紙		1枚		
341	[写真](田中義一肖像)					印刷			1枚		
<b>5.2 図書類</b>											
342	[図書断簡]			明治26年2月		印刷			1綴		
343	"Katechismus der Philosophie"	Julius Hermann Kirchmann		1897年		印刷			1冊	独文書簡、1通(表紙裏に挟み込み)	155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
344	謡本『熊坂』			明治44年10月		印刷			1冊	囃子番組、同文2枚	58,153,284,290,299,302,303,344,345はもと封筒一括
345	謡本『山姥』			明治44年10月		印刷			1冊		58,153,284,290,299,302,303,344,345はもと封筒一括

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
346	謄本『経正』			明治44年10月		印刷			1冊		80,275,279,280,283,286～289,333,346はもとと同じ紙袋に入れられていた
347	"System der Ethik"	Friedrich Paulien		1906年		印刷			1冊	山県有光からの書籍返却メモ、1枚	
348	西伯利政局ノ推移ニ就テ	上田(少佐)		大正11年4月		謄写			1綴		155,166,168,172,174,175,178,180,189,190,198,263,343,348は「陸軍東京警備隊研究資料 ドイツ革命に関すること 他図書2冊」と記された紙箱に入れられていた
349	「戒厳法制定ニ関スル意見」	上杉慎吉[述]、関東戒厳司令部[発行]		大正12年10月		謄写			1冊		
350	正誤表					謄写			1綴		
351	独逸軍隊ト革命	独逸某参謀官[著]、古荘幹郎[訳]				謄写			1綴		
352	『日露戦争』					謄写			1冊		
<b>5.3 米村家近世文書</b>											
353	〔勤務歴書きつけ〕	米村孫兵衛		[文政期]	天明元年以降の勤務歴	墨書		米村猪一郎の勤務歴書きつけ(天保期のもの)同綴	1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
354	〔勤務歴書きつけ〕	米村孫兵衛		天保3年6月	天明元年以降の勤務歴	墨書			1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
355	〔米村孫兵衛御奉公附写〕			天保12年10月	安永7年以降の勤務歴	墨書			1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
356	〔米村孫兵衛勤務関係書類断簡〕					墨書			2枚		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
357	口上之覚	藤本貞之允	神足軍記	天保13年1月	二男貞喜の登用願い	墨書		藤本貞之允の勤務歴書きつけ同綴	1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
358	[藤本貞之允勤務関係書類断簡]					墨書			2枚		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
359	[米村孫兵衛・藤本貞之允ほか勤務関係書類綴]					墨書			1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
360	御奉公附			[嘉永期]	文化10年以降の勤務歴	墨書			1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
361	御奉公之覚	米村猪一郎	愛教四郎次	嘉永3年12月	天保4年以来の勤務歴	墨書			1綴	嘉永4年～安政4年の勤務歴書きつけ、1枚(本体に挟み込まれていた)	353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
362	御奉公之覚	米村猪一郎	山崎久之允	安政4年5月	天保4年以来の勤務歴	墨書			1綴	(1)安永8～9年の勤務歴書きつけ、1枚 / (2)2月23日付林平格付札、1枚(いずれも本体に挟み込まれていた)	353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
363	列席	米村			役人や大工の席次を記したもののカ	墨書			1冊		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
364	[米村猪一郎勤務関係書類綴]					墨書			1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
365	[米村猪一郎勤務関係書類断簡]					墨書			5枚		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
366	御奉公之覚	米村三郎		明治2年2月	万延2年以降の勤務歴	墨書			1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
367	御奉公之覚	米村三郎		明治3年4月	万延2年以降の勤務歴	墨書		明治6年9月16日の追記あり	1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
368	御奉公附	米村三郎		明治3年7月	万延2年以降の勤務歴	墨書			1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
369	御奉公附	米村三郎		明治3年9月	万延2年以降の勤務歴	墨書		明治4年10月まで追記あり	1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
370	御奉公附	米村徳隆		明治7年9月	文久元年以降の勤務歴	墨書	罫紙		1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
371	[米村三郎勤務関係書類断簡]					墨書			7枚		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
372	覚	藤本郷兵衛		文化10年2月	今年から10年の切米等分割について	墨書			1枚		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
373	覚帳			天保13年12月	金銭メモ	墨書			1綴		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
374	白井源左衛門通達	白井源左衛門	永広喜一郎	7月4日	順助人別認加について	墨書			1枚		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた

米村靖雄関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
375	[文書断簡]					墨書			7枚		353～375はもと「江戸時代～明治3年書きつけ」と書かれた箱に一括されていた
<b>5.4 雑</b>											
376	[第五十九回伊勢神宮式年遷宮奉賛会への寄付感謝状]	高倉篤磨(神宮大宮司)・佐藤尚武(伊勢神宮式年遷宮奉賛会会長)・赤星典太(伊勢神宮式年遷宮奉賛会熊本地方本部長)	米村千代			印刷			1枚	第五十九回神宮式年遷宮特別参拝章、1枚	
377	[米村少佐宛寄せ書き帖]					墨書			1冊		
378	[漢詩]				辛未初夏千木堂主人自題于東都駒坂之儼居	墨書			1枚		
379	[和歌]	[賀古]鶴所		大正7年1月1日	老ぬれど馬に鞭うちあら野らをか けりゆかんと尚おもふかな	墨書			1枚		
380	[書画]	能山				墨書			2枚		
381	[戯画]					墨書			1枚		
382	[三河国宝飯郡小泉村万平一家の長寿に関する書付]			安政2年7月		墨書			1枚		
383	[薬品広告]	旭化学研究所				印刷			1枚		